

第73回全国植樹祭大会テーマの決定について

【要旨】

令和4年に岩手県で開催される第73回全国植樹祭の大会テーマについて、一般公募したところ、県内外から1,275点の応募がありました。有識者による専門委員会の審査を経て、北上市立江釣子中学校2年の藤田若葉（ふじたわかば）さんの応募作品「緑をつなごう 輝くイーハトーブの森から」を最優秀賞とし、大会テーマに採用することが決定しましたのでお知らせいたします。

1 公募概要

- (1) 募集期間 令和元年12月25日～令和2年2月21日
- (2) 応募資格 県内外、国籍年齢を問わず応募可能
- (3) 募集内容 植樹祭開催理念、岩手らしさを県内外に発信するにふさわしい作品

2 審査結果

- (1) 総応募数 1,275点
- (2) 審査会（第73回全国植樹祭岩手県実行委員会 大会テーマ・シンボルマーク・ポスター原画専門委員会 第2回大会テーマ小委員会）
 - ア 開催日時 令和2年3月3日（火）13時30分～15時30分
 - イ 審査委員
岩手県立大学 佐々木民夫 名誉教授（岩手県芸術文化振興審議会会長）他6名
 - ウ 入賞作品

賞	作品・応募者・選定理由
最優秀賞 (大会テーマ)	作品：緑をつなごう 輝くイーハトーブの森から 応募者：藤田 若葉（ふじた わかば）さん（北上市立江釣子中学校2年） 選定理由： 宮沢賢治が理想郷として表した「イーハトーブ」が自然と人との調和する岩手県らしさを象徴。「緑をつなごう」、「輝く」が森の継承、震災復興を表し、開催理念も見事に表現されている。
優秀賞	作品：木を植える。未来を育てる。 応募者：上田 愛（うえだ めぐみ）さん（香川県） 選定理由： 一本の木が大きく育ち、皆の未来が豊かに広がる様子をシンプルに表現。震災で消失した高田松原再生に象徴される三陸復興が連想できる。また、句点を用いた表現は斬新且つ力強い。
	作品：森から生まれる 青い空と青い海 応募者：森井 朱美（もりい あけみ）様（奈良県） 選定理由： 森、空、海との密接な関わり、また、その要が森であることが表現され、植樹の重要さが伝わる作品。岩手県の豊かな自然環境、沿岸地域での開催を上手く表現している。
	作品：ふるさとの 未来に届ける みどりの恵み 応募者：平山 智子（ひらやま ともこ）（宮城県） 選定理由： この植樹祭が契機となり開催地高田松原が緑に彩られ未来に届けられる様子が表現され、岩手県での開催と開催理念が上手く表現されている。